

～すてきな人・モノ アートの冊子～

ふじみ野

# ART88

アート発見発信  
プロジェクト



Vol.3  
2018.2.1

オシャレでヘルシーな地中海料理

# ニキズキッチン

## チュニジア料理教室



ふじみ野で2人の女の子を育てながら母国の食文化を楽しく伝えるフダさん。糖尿病のクリニック・リサーチャー、言語学の教授としても活躍する笑顔が魅力の素敵な女性です。チュニジアはアフリカ北部に位置し、地中海に面しています。イスラム文化と聞くとモロッコやト

ルコをイメージしますがお料理はマトン(羊)や卵のシチュー、野菜や魚介類の蒸し物、たっぷりのオリーブオイル、とヘルシーでどちらかというと対岸のイタリア、シチリアのものに近いそうです。チュニジアの女性にとって料理は一般常識(!)とフダさん。レシピは伝統的な家庭料理が中心です。スープやシチューと一緒にいただく【クスクス】はベルベル料理として有名ですが、チュニジアでは蒸したてにスープをかけてふっくらなじませるのが特徴だそうです。また、お祝い事に欠かせないナッツやドライフルーツを使った甘いお菓子もたくさん紹介しています。フダさんが忙しい本業の傍ら教室を続ける理由は過去、子育てで不安を感じた時に生徒さんとのふれあいがとても励みになり、今でも心の支えになっているからだと教えてくれました。教室は英語が中心で(日本語も少しお話しされます)開催は不定期、1クラス6人くらいの少人数です。本やネットでは手に入らない異文化との「ふれあい」は、なによりの教養かも知れませんね。

### Data

HP: ニキズキッチン [nikikitchen.com](http://nikikitchen.com) (エリア: 埼玉で検索)

FB: [Arabic Foods アラビクフード](https://www.facebook.com/ArabicFoods) さいたま

[facebook.com/ArabiaHouse/](https://www.facebook.com/ArabiaHouse/)

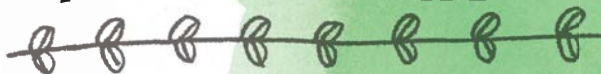


文: 渡部 純子

イラスト: 城 美和子 (小5)

暮らしとあそび

# 78 nanahachi



日々の生活の中で、私たちはどれだけ自然を意識して暮らしているでしょうか？

子どもの頃のように草花と戯れ、泥だらけになり、風を感じる…。大人になった私たちにそんなあそび場を提供してくれるのが78nanahachiさんです。オーナーの横山さんは、生活環境の変化から自然にかかわるようになり、その事で価値観が大きく変わったと語ってくれました。始めは旦那様の御実家である農家の畑をどう扱ってよいか分らなかったそうですが、義理のお父様が一から丁寧に教えて下さり、ご自身も畑作業などを通して自然と関わっていくうちに、天体の運行や季節の移り変わりが、作物にはとても大切だということを実感されたそうです。自然が与えてくれる沢山の恵み…。そしてそれに感謝し、暮らしに活かすよこび。日本古来の歳時記がどれだけ素晴らしいものであるかということも。

いつしかそれは、自然と共に豊かに暮らすことの輪が広がり、地域や社会に役にたつ場所にならないだろうか、という思いにつながり「納屋と季節の畑あそび 78nanahachi」が始まりました。

今では納屋をリノベーションした空間で、自然からインスピレーションを受けた作家さんの展示や販売、草木染のワークショップや畑で収穫したものをジャムやペーストにするなど、様々なイベントを企画されています。

自然とあそぶには本気と忍耐が必要ですが、それに勝る深いよこびと楽しみがあり、それは現代の私たちが忘れていた人間としての本当の豊かさというものなのかもしれません。

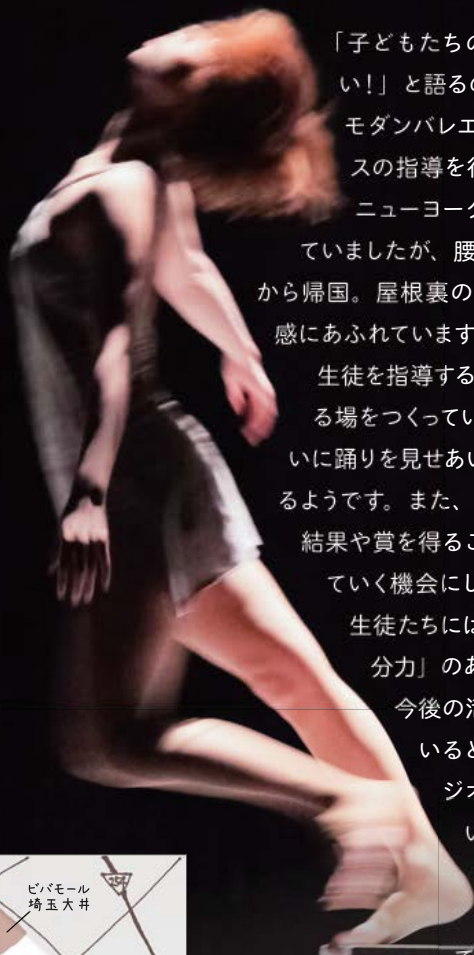


## Data

☎ 356-0034  
ふじみ野市駒林78  
☎ 090-9144-7090  
HP: 78nanahachi.com

文: 尾澤 景子  
イラスト: 抜井 菜々香 (小5)

# 自分力を育てる 705 Dance Lab



「子どもたちの『自分力』を育てたい!」と語るのは、自身のスタジオで、モダンバレエやコンテンポラリーダンスの指導を行う、菊地さん。かつてはニューヨークのダンスカンパニーで踊っていましたが、腰を据えて作品の創作活動をしたいとの思いから帰国。屋根裏の床をくり抜いて作られたスタジオは、開放感にあふれています。

生徒を指導するにあたっては、生徒が踊りの創作を経験する場をつくっていききたいとのこと。そのため、日頃から、互いに踊りを見せあい、意見をどんどん言うよう指導を行っているようです。また、生徒がコンクールに出場した際には、良い結果や賞を得ることよりも、自分を見つめ直し、次につなげていく機会にしてほしいと語ります。こうした指導を通じ、生徒たちには将来、自発的に物事を考え、行動できる「自分力」のある人間になってほしいそうです。

今後の活動について伺うと、今いちばん力を入れていると語ったのは、2年に一度の発表会。スタジオ設立から20周年ということで力が入っている様子です。さらに、自身が主催するダンスカンパニーの活動としては、3月に都民芸術フェスティバルへの参加が決まっており、「お客様の魂に届く作品を発信していきたい」のだそうです。

取材の最後、「多くの方に、気軽にコンテンポラリーダンスを観に来てもらえる機会を増やしたい!」とも語っていました。皆さんも、ぜひ…!!



## Data

☎ 356-0058

大井中央 3-28-1-3F

mail:nanamarugo7053@gmail.com

HP:nanmarugo.net

© 新達也

文：河野 晴香

イラスト：庄田 奈菜(小5)

いにしえに想いを馳せる楽しみ

# 綾の会



あなたは、この上福岡にいにしえから  
伝わる機織りの文化をご存知でしょうか。

江戸の末期、日出間寅次郎ひでまとうじろうにより機織り工場が建てられました。その後、次々と機屋はたやができ、  
最盛期には19軒もの機屋が綿織物を中心に絹綿交織けんめんこうしょく、ジャカード織などの織物を製造して  
いました。

明治20年代にはジャガード織機を備えた機工場が登場し、職工を雇って経営をする機屋も  
あったそうです。また、明治後期には「綾姫織あやひめおり」という独自の製品が作られ、売り出されて  
いたそうです。

その後、昭和初期まで営業を続けていましたが、第二次世界大戦とともに機屋は廃業に追い  
込まれ、機織りの機も農家の納屋でひっそりと眠りにつくことになりました。今では現存する  
一部がふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館で展示されています。

その後、1988年より現存する古文書、縞見本や当時を知る人の貴重な話などを手掛かりに、  
当時の機織りを再現しようと「綾の会あや」が組織されたそうです。当時の縞見本を基に草木染、  
機織りまで、全工程の再現を試みています。

3年に1回開催される「綾の会作品展」で、縞見本を基に作られた再現品や綾の会オリジナルの  
タペストリー、反物などを観ることができます。2017年で結成30周年を迎えた「綾の会」。  
機織りの文化を後世に伝えたいとの思いで活動を続けています。



## Data

☎ 356-0022

📍 ふじみ野市長宮1-2-11

☎ 049-261-6065

(上福岡歴史民俗資料館内)

文：川名 美津雄

イラスト：増子 小雪 (小4)



## 落語は無駄をなくした究極の芸

ふじみ野市出身の落語家、<sup>たてかわし</sup>立川志の<sup>しんろう</sup>太郎さん。鼻筋が通った男前な容姿、聞きやすく心地いい声色、テンポ良い話のリズムに引き込まれてしまいました。

師匠は、現在「ガッテン」(NHK)の司会でおなじみの<sup>たてかわし</sup>立川志の<sup>すけ</sup>輔さん。2015年4月、<sup>しんろう</sup>真打の1つ前の「ニツ目」に昇進。徒弟制度のなかで、芸に対してだけでなく、生き方に対しても厳しく修行を重ね、「修行には終わりが無い」と感じているそうです。心の中に、もうひとりの師匠をつくり、落語を極める努力をし、それが無我となり、人が持つ卑しい「業」を「修める」ことができた瞬間にはじめて「修業」となるのではないかという言葉は、大変印象的でした。

意外にも、子どもの時から落語好きだったわけではなく、市内の少年野球チームに所属した後、空手をやる等、スポーツ少年でした。落語界に入るきっかけは大学生の時に聴いた、入門した師匠立川志の輔さんの落語のCDだったそうです。

様々な芸から無駄なものを全て取っていったものが落語という究極のシンプルな芸であり、初めて聞く人でも楽しめる芸に高めていきたいとのこと。そして落語は是非会場に行き、生で観て空気を一緒に感じてほしいとのことでした。落語以外の分野でも、「はじめてのおつかい」(日本テレ)などのナレーションをされたり、活躍の場を広げられています。これからも応援していきたいと思います。

### Data

HP: [shinotaro.jp](http://shinotaro.jp)

文: 篠島 幹昌

イラスト: 望月 来南(小6)

# 立川志の太郎





# 作る、届ける、祈る ヴァイオリン工房 ヴェルニーチェ

2016年11月に上福岡にオープンしたヴァイオリン工房「ヴェルニーチェ」。ヴェルニーチェはイタリア語で【ニス、塗装】を意味します。「私にとってヴァイオリンはそれ自体が美術品」と語る池淵さん。木目を際立たせ本体の美しさを左右するニスへの愛とこだわりを店名に込めました。「ヴァイオリンは経年や環境によっても音の鳴りが変わってしまいます。作る人間がそこまでコントロールすることはできません。だけどちゃんと作ってあれば100年、200年音が鳴ります。そういうものを作って行きたい」。一つの楽器に魂を込める若き職人の横顔は柔和なだけではありません。勉強をしても修理の仕事に就く人が大半の業界。一人で店を構える彼は単身でイタリアに就学した際も現地の言葉は全く喋れなかったと言います。帰国後も修理ではなく作りたいという気持ちは揺らがなかったと語ります。その静かな情熱に100年、200年分のエールを送りたいと思います。

上福岡の交番前、十字路を踏切方面へ入った左側にアトリエがあります。弓の張替え、修理はもちろん、ヴァイオリンからなんとコントラバスまでオリジナルをオーダーすることができます。直接イタリアで買い付けをするため弦などのパーツもお安く提供しています。



※2018年2月に左記住所に移転しました。



## Data

☎ 356-0003

ふじみ野市大原 2-5-8

☎ 070-4416-1891

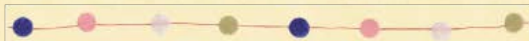
HP:ateliervernice.com

🕒 13:00 ~ 19:00 (休火・水)

文：渡部 純子

イラスト：菊田 みのり(小5)

# わたしたちが考えるアート



野に咲く花や子どもの小さな手も"感じる心"さえあればその人にとってかけがえのないアートになります。この冊子では、様々な分野の有志が集まりそれぞれの感性でふじみ野市の素敵な人、モノ、活動を綴ります。有名だから、芸術と言われるカテゴリーだからなど既成概念に囚われることなく『気付き』や『好奇心』を与えてくれるものをアートと位置づけ、それを表現する人、発見する人、発信する人、受け取る人…アートを中心とした人と人とのつながりを作って行けたらそれが一番素晴らしい『アート』になるのではないかと考えます。アートを通じて【心を育てる街づくり】を目指して参ります。

掲載させていただいたものの中には参加したり実際に見ることが出来るものもありますので是非皆さまの"感じる心"に出会いに行ってください。皆さまからもふじみ野市でこんなものを見つけたよ！などお声をいただけると嬉しいです。

スタッフ 生田将哉 生田まりな 尾澤景子 川名美津雄 木村和弘 木村美恵  
河野晴香 篠島幹昌 渡部純子 (50音順)

イラスト提供 絵画造形教室アートふじみの

このプロジェクトは上記9人の公募スタッフにより企画・取材及び編集を行いました。

発行/ふじみ野市文化・スポーツ振興課

編集/ART88 プロジェクトスタッフ

☎ 356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡 1-1-1 ☎ 049-262-8124

mail: bunka@city.fujimino.saitama.jp



## フジミノデザイン

「パンフレットをカッコよく」「ホームページをわかりやすく」。お客様のイメージをお聞きし、アイデアをのせてカタチにします。

ふじみ野市霞ヶ丘 1-2-12  
(上福岡駅前)  
MAIL: infofujimino-d.jp  
HP: fujimino-d.jp

## ふじみ野 耳専門サロン patio



子供から大人まで心と身体の不調をリセット出来る「神門メソッド」効果をご実感下さい。自律神経調律師 おやこふれあいクラブ代表

ふじみ野市南台  
☎ 090-2632-0257  
HP: sinmon.wixsite.com/patio



## ギャラリーハチドリ

ギャラリーの運営 + デザイン業。各種印刷物・イラスト制作・ロゴ制作・Webサイト制作・商品企画・イベント企画など。

ふじみ野市上福岡  
1-12-17  
☎ 050-1401-5071  
HP: gallery8dori.wixsite.com/hachidori



## アートふじみの

上福岡駅から徒歩4分。年長生から始められる絵画造形教室。ジュニアクラス・おとなクラスあり。体験レッスン随時受付中。

ふじみ野市上福岡  
1-14-46 中商ビル5階  
☎ 049-293-6086  
HP: artfujimino.com